



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったり、パソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

「まくらざき学校応援団」 ボランティア大募集

枕崎市では、幅広い地域住民の参画を得て地域全体で子どもたちの学びや成長を支える、地域学校協働活動の一環として「まくらざき学校応援団」活動に取り組んでいます。

学校応援団は、学習活動や学校行事への支援など、ボランティアとして地域ぐるみで学校運営を支援するもので、子どもたちの学びや成長を地域の方に支えていただく活動です。

ご自分のできる範囲で、下記のような内容を支援していただける方を広く募集し、「まくらざき学校応援団ボランティア」として登録させていただきます。

ご協力いただける方は、ホームページ掲載のボランティア登録申請書で、枕崎市教育委員会生涯学習課へお申し込みください。（申請書持参、電話、FAX、郵送での連絡もOKです）



活動の区分	実際に行っている活動や 学校が必要としている主なボランティア内容
学習活動への支援	本の読み聞かせ活動、毛筆書写指導、ミシンの操作指導、調理実習補助・指導、絵画実技指導、合唱指導、和楽器指導、そろばん指導、地域の伝統・文化の紹介、昔の遊び伝承、戦争体験講話 など
安心・安全への支援	登下校時の安全指導・見守り、まち探検の安全補助、持久走大会の走路立哨 など
屋外体験活動・環境整備への支援	からいもの苗植え・いも掘り指導、田植え・米の収穫指導、茶摘み体験指導、花づくり、庭木剪定、校内の環境整備 など
学校行事・校外学習への支援	グラウンドゴルフ体験指導、立志講演会、放課後補充学習支援（見守り） など

問い合わせ先 枕崎市教育委員会生涯学習課 〒898-0051 枕崎市中央町184
電話 76-1286(生涯学習課直通) FAX 72-0677

～箏(こと)と尺八の演奏を鑑賞 箏の演奏体験も～ 立神中学校

立神中学校では3月6日の1年生の音楽の時間に、箏(こと)と尺八の生の演奏を生徒たちが鑑賞し、箏の演奏体験も行いました。箏はマーガレット会の川越支津子さん、山口直子さん、南條晴美さん、尺八は都山流竹示会の椎原久昭さんに来校いただき、演奏と解説をしていただきました。



箏の演奏体験に挑戦

椎原さんの尺八の解説では「尺八は音が出るようになるまでが難しい。良い音を持続するには毎日の努力が必要である。また、吹く人によって音色が違い、色々な音色を出せる楽器である。」などの話がありました。



箏と尺八の優雅な演奏に聴き入る

生徒たちは、「春の海」や「越後獅子」など5曲の箏と尺八の演奏を真剣な態度で鑑賞し、箏と尺八の生の音色と素晴らしい演奏に触れて、雅(みやび)な時間を過ごすことができました。

最後の演奏体験では、生徒一人ひとりが指に爪をはめ、箏の弦をつまびいて「さくらさくら」の曲に挑戦しました。普段はできない、箏の貴重な演奏体験ができました。

～認知症キッズサポーター養成講座 4年生22人が受講～ 桜山小学校

桜山小学校では2月28日に認知症キッズサポーター養成講座が行われ、4年生22人が受講しました。

枕崎市役所の地域包括ケア推進課の協力により実施されたもので、市地域包括ケア推進課の野村さん、小原病院地域医療連携室の森さん、小規模多機能ホーム花渡川の阿久根さんにおいていただきました。



野村さん(左)の説明を真剣に聞く子供たち

これまで、総合的な学習の時間に高齢者の体験をしたり、認知症について調べたりしていた子供たちは、今回のこの講座を真剣に受講していました。

認知症の症状はどのようなものがあるのかや、認知症の人が失敗しても「大丈夫だよ」と分かってあげたり、周りの人の関わり方で心の状態が保たれることを学びました。

実際に認知症の方の映像を見ると、「自分のおばあちゃんと変わらない。見ただけじゃわからない。」とびっくりした様子で、これからはたくさん挨拶をしたり、優しく話しかけてみようと思いをもちました。

講座を受けた後には、認知症キッズサポーター養成講座受講証明書と、認知症のイメージカラーのオレンジリングを授与され、全員が立派な「認知症キッズサポーター」になりました。



児童全員に受講証明書が授与される